



「てご」とは手伝う（支援する）という意味の方言です

No. 147

2022. 7 . 8

美川西地区集落営農連携協議会 設立総会



特集 美川西地区集落営農連携協議会が設立されました

6月29日（水）に、美川まちづくりセンター西分館において美川西地区集落営農連携協議会設立総会が開催されました。

本協議会は、美川西地区の法人や任意団体が連携し、農地保全と農業振興を図ることを目的として、5集落（田橋上、田橋中、田橋下、横山上、横山下）の82人が構成員となり設立されました。

太田靖男会長からは、「美川西地区が限界集落にならないようにやっていきたい。ぜひ協力をお願いしたい」と取り組みに対する決意が述べられました。

今後、本協議会では日本型直接支払制度（多面的機能支払交付金）を活用し、水路や農道等の維持補修を行うなど、農地保全及び環境保全に取り組まれます。

呂辰連携協議会



あいさつをされる太田会長

役員体制（敬称略）

会長 太田 靖男

副会長 小川 泰昭、稻垣 薫、城谷 恒司（会計兼務）

事務局 稲垣 俊典、塙本 徹夫

監査 浅浦 徹、岩井 省悟

代議員 福原 昭男、長嶧 茂巳、小出 伸昭、品川 悅雄、稻垣 廣雪

【有機米】アイガモロボ現地研修会を開催しました！

6月14日（火）に、今年度弥栄地区で実証試験を行っている自動抑草ロボット（アイガモロボ）の現地研修会を開催し、市内や県外の生産者の方に参加いただきました。

最初に座学を行い、島根県農業技術センター専門研究員の松本樹人さんから有機米を栽培するうえで欠かせない「トロトロ層」について、続いて井関農機株式会社の小林省吾さんからアイガモロボについてお話をいただきました。

続いて弥栄町稻代の実証圃に移動し、稼働しているアイガモロボを見学していただきました。

あいにくの雨模様の中でしたが、アイガモロボは元気よく田んぼの中を泳いでいました。

実証の結果については、今後TEGOねっとだよりでもお知らせしていきます！



座学の様子

実証圃見学の様子

【8月10日開催】スマート農業（播種機械）実演研修会を開催します！

浜田市では、有機の露地野菜の取り組みを進めるうえで、省力化を図るために、機械化一貫体系の構築を進めています。今回は、ヤンマー農機中四国支社のご協力いただき、自動操舵を導入したトラクターによる有機人参の播種の実演研修会を行います。

最新の技術をこの機会にぜひご覧ください。参加ご希望の方は、浜田市農林業支援センターまでご連絡ください。

開催日時：令和4年8月9日（火）

13:30～

実施場所：小松ファーム圃場

（浜田市弥栄町小坂332-2）

使用機械：YT225ハイクリ、自動操舵、
アグリテクノ矢崎4条播種機

播種概要：条間25cm、株間6cm



【お知らせ】転作作物の現地確認について（再掲）

前回もお伝えしましたが、浜田市農業再生協議会では、下記の日程で経営所得安定対策に係わる「転作作物現地確認」を行う予定です。

該当する生産者の方は「立札（現地確認票）」を送付しますので、転作地と分かるように「立札」を立てておいていただきますようよろしくお願ひいたします。

地区名	現地確認日
浜田	7月25日（月）
三隅	7月26日（火）
金城	7月27日（水）
旭	7月29日（金）
弥栄	8月1日（月）

※日程が変更となる場合があります

令和4年度 経営所得安定対策現地確認票			
市町村	浜田市	地区	農林業
集落	支援センター		
地域協議会	浜田市農業再生協議会		
農協	島根県農業協同組合		
申請者名	島根 一太郎		
水田地番	殿町1番地1		
作付面積	980m ²		
作物名等	キャベツ		
備考	◆この札は確認終了まで取らないでください。 ◆このまま竹等にはさんで立ててください。 ◆記載物に変更のある場合には訂正し、記入して下さい。 ◆現地確認後、立札は回収して帰ります。		

立札（現地確認票）の例

当情報誌は、新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様に配信しています。

ご意見や記事掲載のご希望は下記までご連絡ください。

浜田市農林業支援センター（農林振興課 普及支援係） 〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地

TEL：0855-22-3500 FAX：0855-22-3477 E-mail：n-shien@city.hamada.lg.jp

